

「牛石の孔雀明王碑」

令和 2 年(2020)7 月 7 日

<https://shugen-jitsukaga.weblike.jp/usiisi-kujaku.html>

本ホームページでは幕末から明治時代中期にかけて活躍した修験道「実利行者」林実利（はやしじつかが）の足跡めぐりを解説・検証している。実利は名山霊場巡拝の後大峯山および大台ヶ原等で千日行を実施。明治維新（廃仏毀釈など）で大打撃を被った修験道（大峯山道ほか）の復興の大事業を成し遂げた。

ここでは、実利行者が大台ヶ原に残した現存唯一の遺物「孔雀明王碑」を古写真で検証する。

大台ヶ原牛石が原にある孔雀明王碑

明治 7 年(1874)大峯の修行の後、実利行者は大台ヶ原の牛石ヶ原で修行し、牛石の傍に実利行者が建てた孔雀明王の石碑があります。

大正・昭和の写真では牛石と孔雀明王碑は笹の上に頭を出し高さは同一レベルに写っています。昭和 30 年頃の笹枯れ死があり、36 年には第二室戸台風で大量樹木倒れがあり、昭和 38 年の写真では笹がなくなり横の石の上に孔雀明王碑が立っていたことがわかります。その後、いつの日か孔雀明王碑は地面に据え置きになって高さは低くなっています。(平成 24 年の写真)

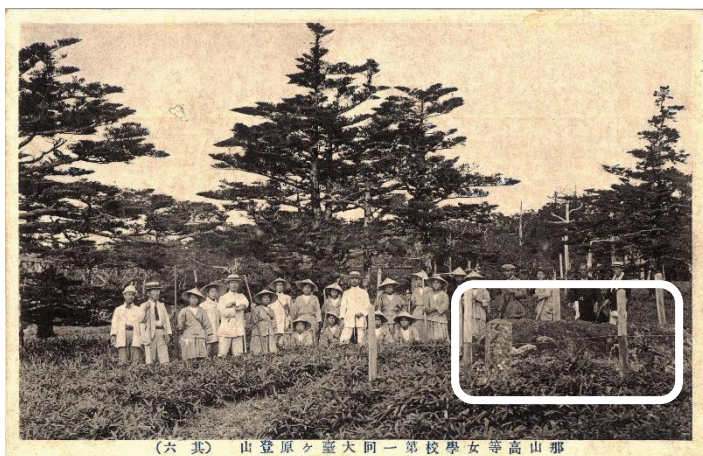


平成 24 年(2012)の牛石と孔雀明王碑(杭状)
牛石より低い位置にある (写真: HP より)



大正 7 年～10 年(1918~1921) 石碑と牛石
大臺原頂青檀熊笹ヲ敷ケル牛石ヶ原

写真提供：成瀬匡章氏



大正 11 年(1922)石碑と牛石

奈良県郡山高等学校山岳部第一回大台ヶ原山登山記念
写真提供：成瀬匡章氏



昭和 38 年頃 石碑と牛石 石碑が石の台の上
写真提供：田村義彦氏 (HP より)